

Ⅲ－４ 宝満川流域下水道事業

宝満川流域下水道は、小郡市北部及び筑紫野市南部を計画区域とし、昭和59年度に着手し、昭和63年6月に宝満川浄化センターを供用開始して以来、都市環境の整備と宝満川水域の水質保全のために大きな役割を果たしている。

流域幹線管渠は、三国、津古、横隈及び馬市幹線の4幹線で、地形上の理由により一部圧送方式としており、ポンプ場は力武と馬市の2カ所である。

宝満川浄化センターは、小郡市に位置しており、水処理施設は、全体計画4系列全てが活性汚泥法で完成しており、今後、高度処理化を進める計画である。また、宝満川上流流域下水道の汚水を本浄化センターに受け入れて処理を行っているところである。



宝満川浄化センター

表Ⅲ-13 宝満川流域下水道事業計画

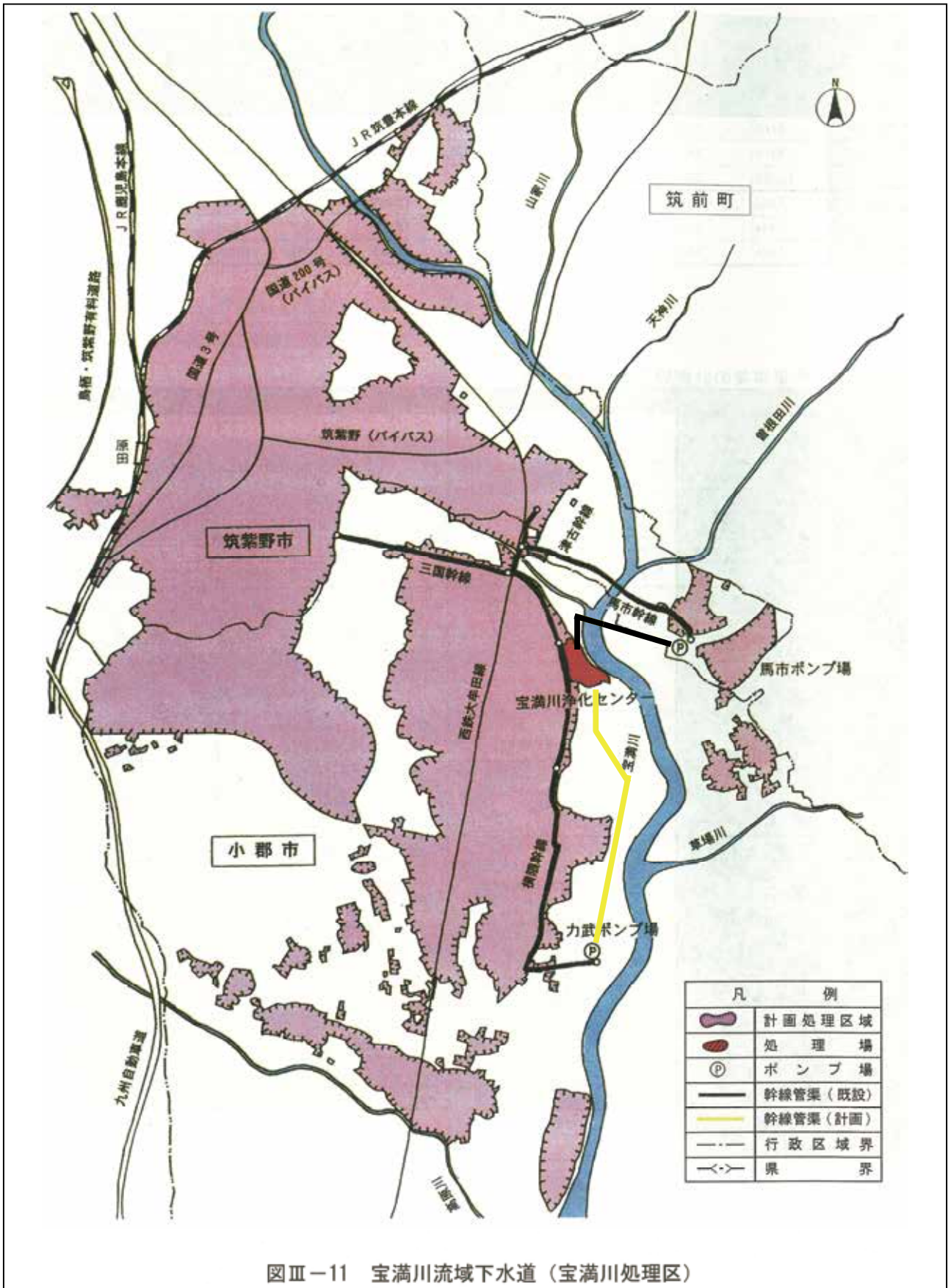
項目	市町名	計画区域 (ha)	計画人口 (千人)	日平均家庭汚水量		日最大家庭汚水量		工場排水量 (m3/日)	地下水量 (m3/日)	日平均計画汚水量 (m3/日)	日最大計画汚水量	
				(ℓ/人・日)	(m3/日)	(ℓ/人・日)	(m3/日)				(m3/日)	比率(%)
事業計画	筑紫野市	474.3	24.4	235	6,834	310	7,566	690	1,098	7,504	9,354	
	小郡市	553.6	25.7	245	7,444	310	7,957	300	1,155	7,684	9,412	
	合計	1,027.8	50.1		14,278		15,523	990	2,253	15,188	18,766	
全体計画	筑紫野市	507.9	24.5	235	5,750	310	7,586	1,410	1,101	8,061	10,097	52.6
	小郡市	556.8	24.8	245	6,076	310	7,688	300	1,116	7,432	9,104	47.4
	合計	1,064.7	49.3		11,826		15,274	1,710	2,217	15,493	19,201	100.0

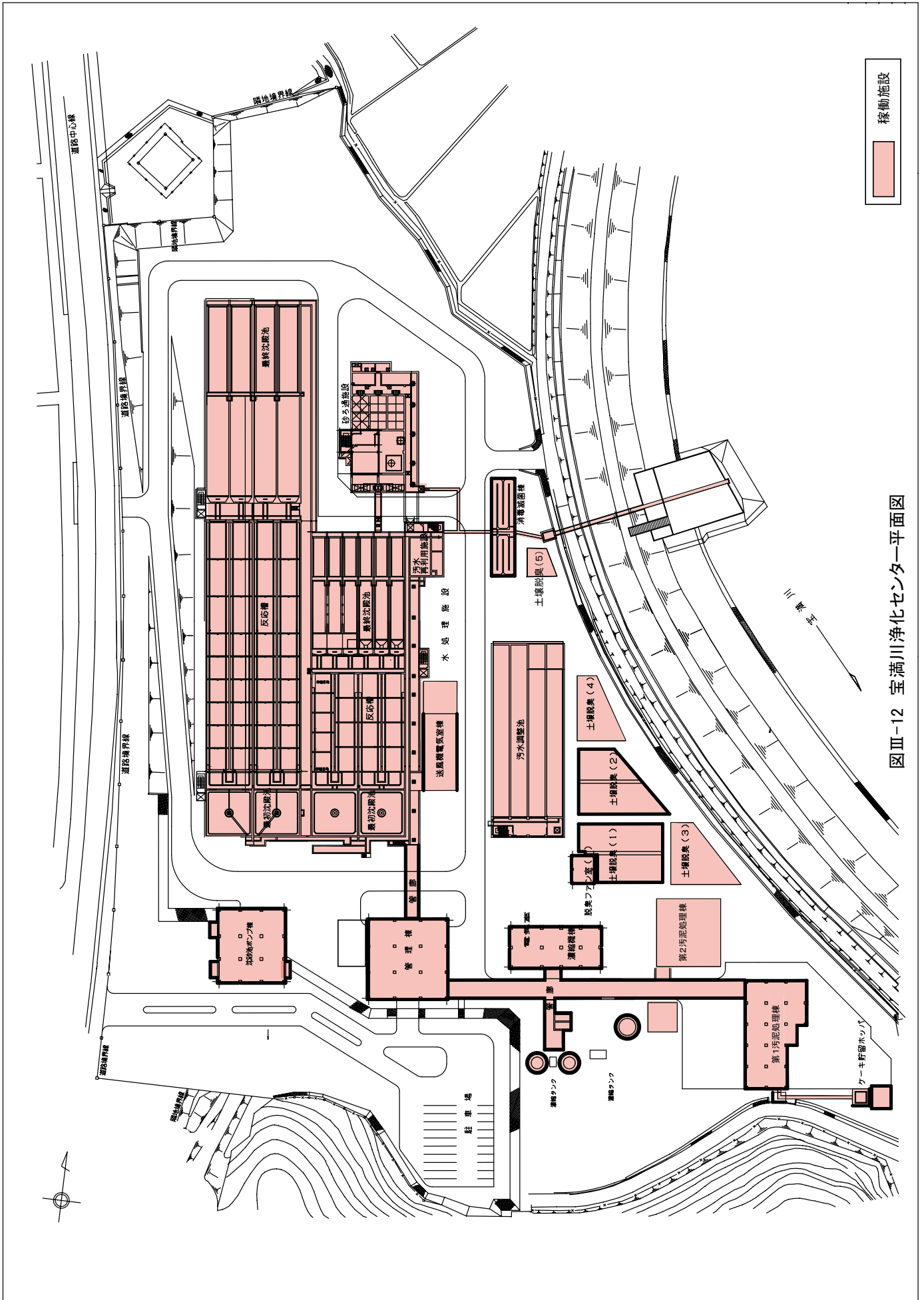
全体計画：平成28年11月策定

事業計画：平成29年10月策定

宝満川流域下水道事業の計画概要及び進捗状況

		全体計画	事業計画	29年度末	
関連市町		筑紫野市、小郡市	同左	同左	
処理面積		1,064.7ha	1,027.8ha	946.9ha	
処理人口		49,270人	50,075人	52,970人	
排除方式		分流式	同左	同左	
幹線管渠	三国幹線	φ900 ~ φ800 L = 2,010 m	同左	同左	
	津古幹線	φ1,000 ~ φ800 L = 470 m	同左	同左	
	横隈幹線	φ700 ~ φ400 L = 4,780m	同左	φ700 ~ φ400 L = 2,390m	
	馬市幹線	φ200 ~ φ100 L = 2,430 m	同左	同左	
	計	L = 9,690 m	同左	L = 7,300 m	
ポンプ場	名称及び所在地	力武ポンプ場 小郡市力武	同左 同左	同左 同左	
		馬市ポンプ場 筑紫野市大字西小田	同左 同左	同左 同左	
終末処理場	名称及び所在地	宝満川浄化センター 小郡市津古	同左 同左	同左 同左	
	処理場面積	5.2ha	同左	同左	
	処理方式	嫌気無酸素好気法+急速ろ過	同左	活性汚泥法+急速ろ過	
	処理能力	26,810 m3/日	同左	39,200 m3/日	
	水処理施設	最初沈殿池	4池	同左	同左
		反応槽	8池	同左	同左
		最終沈殿池	4池	同左	同左
		急速ろ過池	3池	同左	同左
		塩素混和池	1池	同左	同左
	汚泥処理施設	重力濃縮設備	3基	同左	同左
機械濃縮設備		3基	同左	同左	
脱水機		4基	同左	同左	
供用開始		昭和63年6月4日			





稼働施設

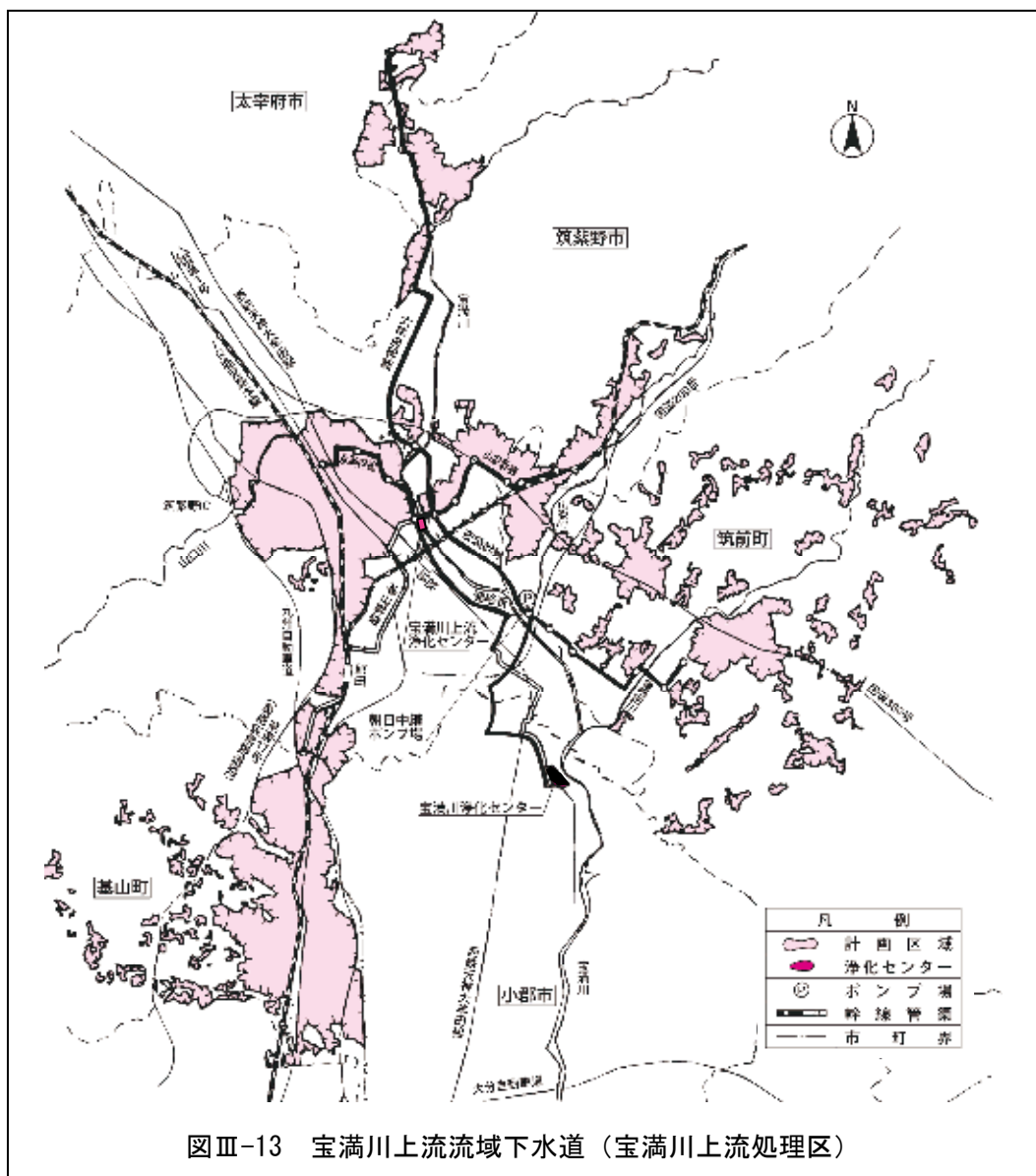
図III-12 宝満川浄化センター—平面図

Ⅲ-5 宝満川上流流域下水道事業

宝満川上流流域下水道事業の計画区域は、筑紫野市、太宰府市、筑前町及び佐賀県基山町により構成されており、市街化区域（用途地域）及び将来市街化が予想される周辺の既存集落を含めた区域である。生活環境の整備と公衆衛生の向上に寄与すると共に、宝満川をはじめとする公共用水域の水質保全のために、平成5年度から着手している。

流域幹線管渠は、夜須、山家、永岡、太宰府及び基山の5幹線で、地形上の理由から夜須幹線の一部は圧送方式としており、筑前町に朝日中継ポンプ場を建設している。

なお、近接する宝満川浄化センターと連絡管で接続し、平成10年4月より筑紫野市、平成13年4月より筑前町、平成21年10月より太宰府市の一部区域の汚水を圧送、処理している。



図Ⅲ-13 宝満川上流流域下水道（宝満川上流処理区）

表Ⅲ-14 宝満川上流流域下水道事業計画

項目	市町名	計 画 区 域 (ha)	計 画 人 口 (千人)	日 平 均 家庭汚水量		日 最 大 家庭汚水量		工 場 排水量 (m3/日)	地 下 水 量 (m3/日)	日平均 計 画 汚水量 (m3/日)	日最大 計画汚水量	
				(ℓ/人・日)	(m3/日)	(ℓ/人・日)	(m3/日)				(m3/日)	比率(%)
事業計画	筑紫野市	567.1	22.1	235	5,189	310	6,845	860	994	7,013	8,699	
	筑前町	487.9	15.2	205	3,118	255	3,879	100	608	3,826	4,587	
	太宰府市	45.6	0.7	235	165	310	218	-	32	197	250	
	基山町	0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合 計	1,100.5	38.0		8,472		10,942	960	1,634	11,036	13,536	
全体計画	筑紫野市	931.0	24.6	235	5,774	310	7,617	860	1,106	7,710	9,583	42.1
	筑前町	495.5	13.9	205	2,845	255	3,539	100	555	3,500	4,194	18.5
	太宰府市	45.6	0.7	235	165	310	218	-	32	197	250	1.1
	基山町	476.0	12.7	245	3,119	310	3,946	4,200	573	7,892	8,719	38.3
	合 計	1,948.1	51.9		11,903		15,320	5,160	2,266	19,299	22,746	100.0

全体計画：平成28年11月策定

事業計画：平成29年5月策定

宝満川上流流域下水道事業の計画概要及び進捗状況

		全 体 計 画	事 業 計 画	2 9 年 度 末	
関 連 市 町		筑紫野市、筑前町、 太宰府市、佐賀県基山町	筑紫野市、筑前町、太宰府市	同左	
処 理 面 積		1,948.1 ha	1100.5 ha	952.8 ha	
処 理 人 口		51,880 人	37,990 人	37,057 人	
排 除 方 式		分流式	同左	同左	
幹 線 管 渠	夜 須 幹 線	φ1200 ~ φ400 L = 5,170 m (うち、圧送管部の2,011mは二条管)	同左	φ1200 ~ φ400 L = 5,170 m (うち、圧送管部の2,011mは一条管)	
	山 家 幹 線	φ 450 ~ φ350 L = 2,250 m	同左	同左	
	永 岡 幹 線	φ 700 ~ φ500 L = 2,250 m	同左	同左	
	太 宰 府 幹 線	φ 600 ~ φ200 L = 7,270 m	同左	同左	
	基 山 幹 線	φ 700 L = 4,580 m	-	-	
	計	L = 21,520 m	L = 16,940 m	L = 16,940 m	
	送 泥 管	φ 200 L = 5,010 m (二条管)	同左	φ 200 L = 2,670 m (二条管)	
連 絡 管	φ 400 L = 5,950 m (二条管)	φ 400 L = 3,980 m (二条管)	φ 400 L = 3,780 m (二条管) φ 400 L = 200 m (一条管)		
ポ ン プ 場	名 称 及 び 所 在 地	朝日中継ポンプ場 夜須町大字朝日	同左	- -	
終 末 処 理 場	名 称 及 び 所 在 地	宝満川上流浄化センター 筑紫野市大字諸田、常末、岡田	同左	- -	
	処 理 場 面 積	4.31ha	同左	同左	
	処 理 方 式	嫌気無酸素好気法+急速ろ過	同左	-	
	処 理 能 力	22,800 m3/日	14,250 m3/日	-	
	水 処 理 施 設	最 初 沈 殿 池	8池	5池	-
		反 応 槽	8池	5池	-
		最 終 沈 殿 池	8池	5池	-
		急 速 ろ 過 池	2池	同左	-
塩 素 混 和 池		1池	同左	-	
供 用 開 始	平成10年4月1日				

※平成10年4月1日より、宝満川浄化センターに送水し、処理している。

Ⅲ－6 筑後川中流右岸流域下水道事業

筑後川中流右岸流域下水道は、小郡市、朝倉市及び大刀洗町により構成されており、処理区域は市街化区域（用途地域）及び将来市街化が予想される周辺の既存集落を含めた区域である。生活環境の整備と公衆衛生の向上に寄与すると共に、宝満川をはじめとする公共用水域の水質保全に資することを目的として、平成6年度から事業着手している。

流域幹線管渠は、甘木、小郡及び大刀洗の3幹線で平成17年度末に完成している。また、終末処理場である福童浄化センターは、小郡市の福童に位置し、平成20年12月から処理を開始している。現在、水処理施設は4系列全てが完成しており、関連市町の面整備と整合した事業進捗を図っているところである。



福童浄化センター

表Ⅲ-15 筑後川中流右岸流域下水道事業計画

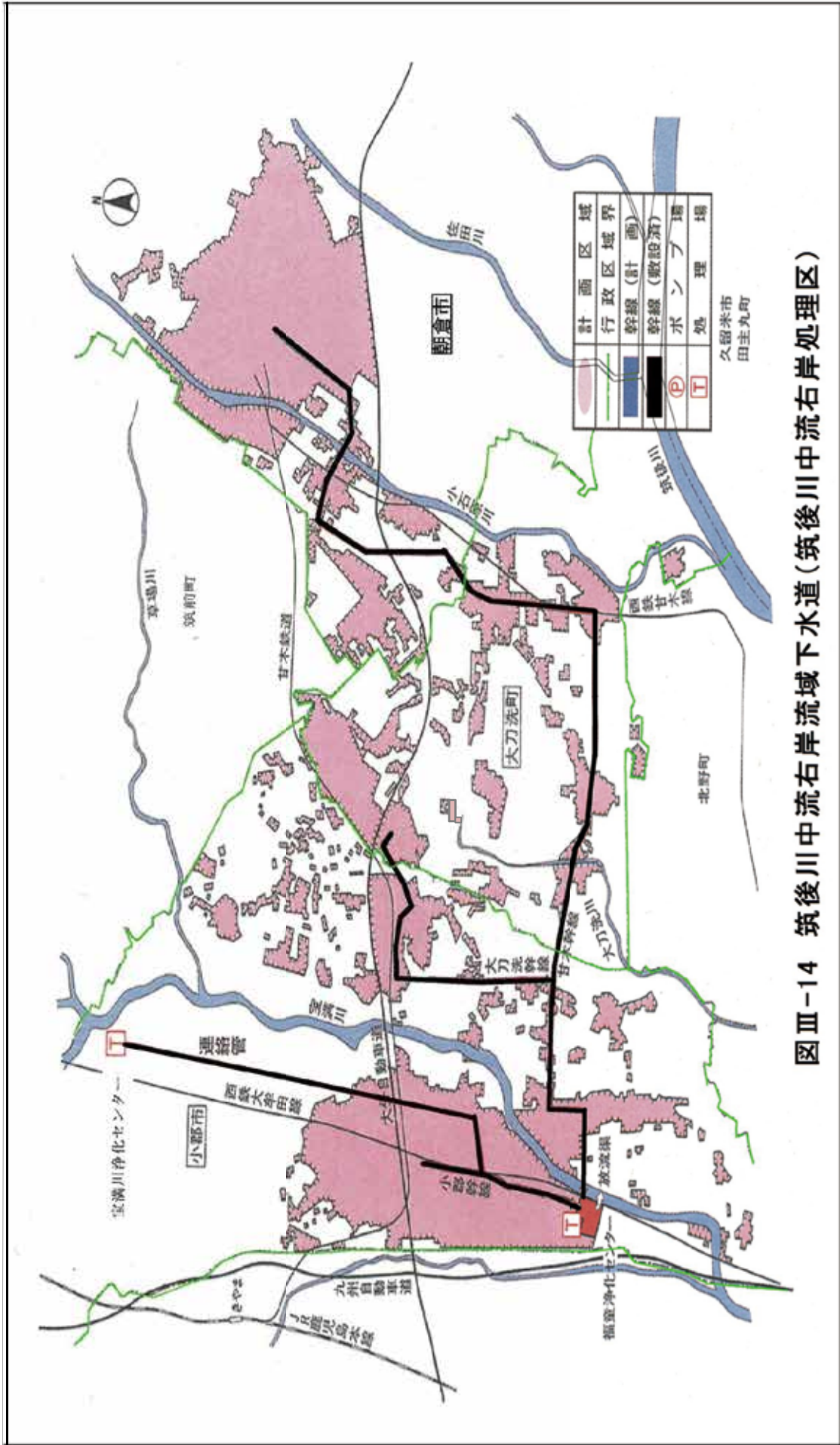
項目	市町名	計画区域 (ha)	計画人口 (千人)	日平均家庭汚水量		日最大家庭汚水量		工場排水量 (m3/日)	地下水量 (m3/日)	日平均計画汚水量 (m3/日)	日最大計画汚水量	
				(ℓ/人・日)	(m3/日)	(ℓ/人・日)	(m3/日)				(m3/日)	比率(%)
事業計画	小郡市	865.2	25.6	245	6,265	310	7,927	40	1,151	7,656	9,118	
	大刀洗町	563.3	13.3	225	2,990	280	3,721	550	532	4,072	4,803	
	朝倉市	763.4	21.6	240	5,172	320	6,896	1,332	1,078	7,582	9,306	
	合計	2,191.9	60.4		14,427		18,544	1,922	2,761	19,310	23,477	
全体計画	小郡市	1,196.6	29.3	245	7,179	310	9,083	70	1,319	8,783	10,472	43.9
	大刀洗町	567.2	12.6	225	2,824	280	3,514	550	502	3,876	4,566	19.0
	朝倉市	888.0	20.2	240	4,853	320	6,470	1,332	1,011	7,196	8,813	36.5
	合計	2,651.8	62.1		14,856		19,067	1,952	2,832	19,855	23,851	99.4

全体計画：平成29年10月策定

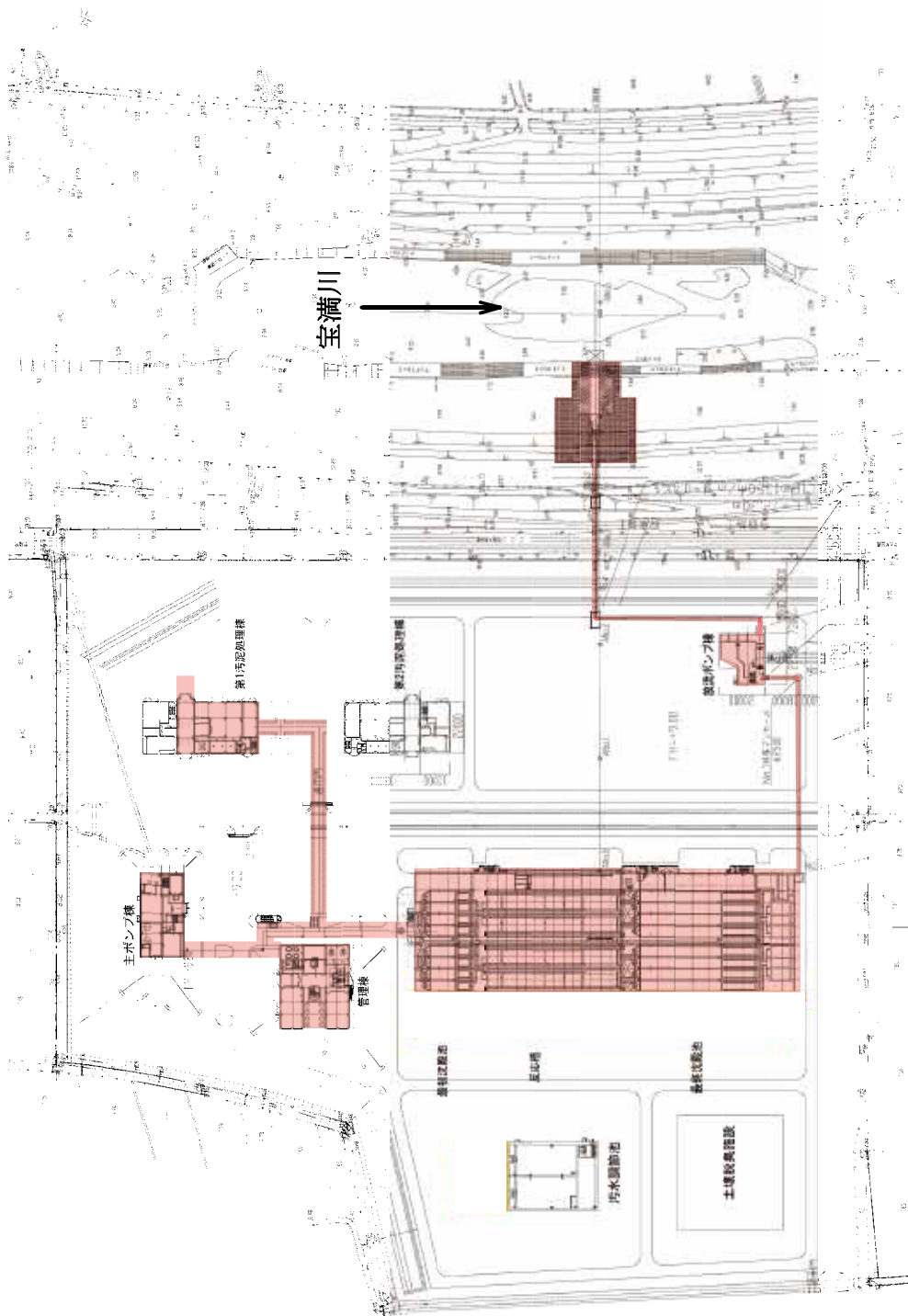
事業計画：平成31年2月21日策定

筑後川中流右岸流域下水道事業の計画概要及び進捗状況

		全体計画	事業計画	29年度末	
関連市町		朝倉市、小郡市、大刀洗町	同左	同左	
処理面積		2,561.8ha	2,191.9ha	1,641.8ha	
処理人口		62,070人	60,410人	57,878人	
排除方式		分流式	同左	同左	
幹線管渠	小郡幹線	φ950 ~ φ800 L = 2,540 m	同左	同左	
	甘木幹線	φ1,420 ~ φ700 L = 15,630 m	同左	同左	
	大刀洗幹線	φ700 ~ φ500 L = 4,430 m	同左	同左	
	計	L = 22,600 m	同左	同左	
	連絡管	φ500 L=8,190m	同左	同左	
終末処理場	名称及び所在地	福童浄化センター 小郡市福童	同左 同左	同左 同左	
	処理場面積	11.75ha	同左	同左	
	処理方式	嫌気無酸素好気法+急速ろ過	同左	同左	
	処理能力	27,000 m3/日	同左	同左	
	水処理施設	最初沈殿池	8池	同左	同左
		反応槽	4池	同左	同左
		最終沈殿池	8池	同左	同左
		急速ろ過池	4池	同左	同左
		塩素混和池	1池	同左	同左
	汚泥処理	機械濃縮設備	3基	同左	2基
脱水機		3基	同左	2基	
供用開始		平成16年3月31日			



図Ⅲ-14 筑後川中流右岸流域下水道(筑後川中流右岸処理区)



図Ⅲ-15 福童浄化センター平面図

稼働施設

Ⅲ-7 遠賀川下流流域下水道事業

遠賀川下流流域下水道の計画区域は、1級河川遠賀川の下流に位置し、遠賀川をはさんで左岸側を流れる西川及び右岸側を流れる曲川地域にまたがる区域である。関連市町は、中間市、水巻町、鞍手町及び遠賀町の1市3町により構成されており、これらの区域は公共用水域の水質保全及び地域住民の生活環境の改善を目的として、平成7年度に事業着手し、平成15年7月に一部供用を開始している。

流域幹線管渠は、水巻中間、鞍手、鞍手西及び遠賀の4幹線で、地形上の理由から一部は圧送方式としており、2つのポンプ場を位置付けている。また、終末処理場である遠賀川下流浄化センターは中間市及び鞍手町に位置している。

現在は、流域幹線管渠の整備が完了し、関連市町の面整備と整合した処理場整備の進捗を図っているところである。



遠賀川下流浄化センター

表Ⅲ－16 遠賀川下流域下水道事業計画

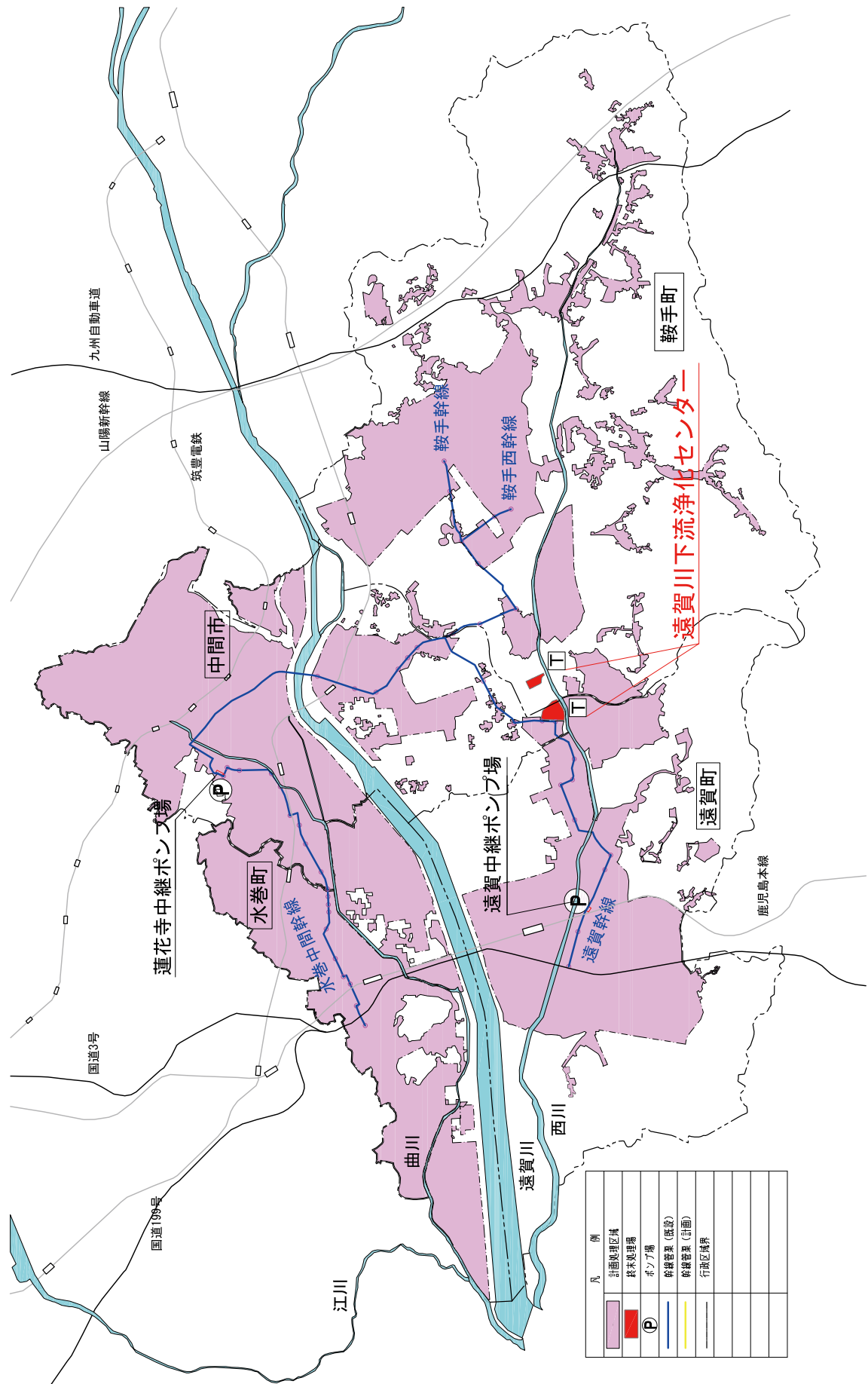
項目	市町名	計 画 区 域 (ha)	計 画 人 口 (千人)	日 平 均 家庭汚水量		日 最 大 家庭汚水量		工 場 排水量 (m3/日)	地 下 水 量 (m3/日)	日平均 計 画 汚水量 (m3/日)	日最大 計 画汚水量	
				(ℓ/人・日)	(m3/日)	(ℓ/人・日)	(m3/日)				(m3/日)	比率(%)
事業計画	中間市	1,042.0	37.8	270	10,198	340	12,842	110	1,889	12,197	14,841	
	水巻町	732.0	25.0	250	6,252	315	7,878		1,125	7,377	9,003	
	遠賀町	494.0	16.6	260	4,316	325	5,395	58	830	5,204	6,283	
	鞍手町	395.9	7.2	260	1,874	350	2,524		397	2,271	2,921	
	合 計	2,663.9	86.6		22,640		28,639	168	4,241	27,049	33,048	
全体計画	中間市	1,045	31.6	270	8,532	340	10,744	110	1,580	10,222	12,434	39.1
	水巻町	804	22.7	250	5,675	315	7,151		1,022	6,697	8,173	25.7
	遠賀町	779	17.9	260	4,654	325	5,818	58	895	5,607	6,771	21.3
	鞍手町	813	11.0	260	2,847	350	3,832		602	3,449	4,434	13.9
	合 計	3,441	83.2		21,708		27,545	168	4,099	25,975	31,812	100.0

※全体計画：平成30年2月13日策定

※事業計画：平成31年2月7日策定

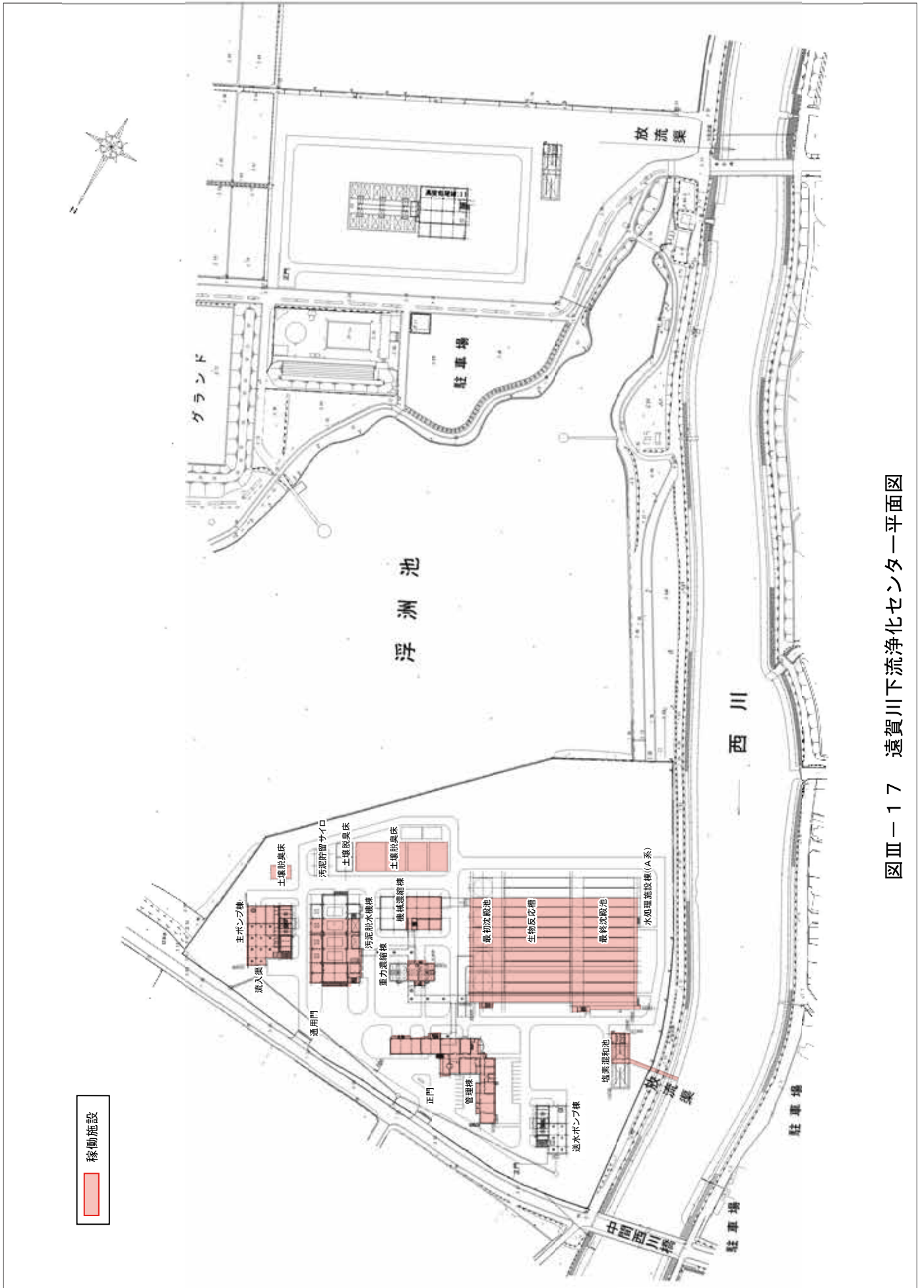
遠賀川下流域下水道事業の計画概要及び進捗状況

		全 体 計 画	事 業 計 画	2 9 年 度 末	
関 連 市 町		中間市、水巻町 遠賀町、鞍手町	同左	同左	
処 理 面 積		3,441ha	2,664ha	1,844ha	
処 理 人 口		83,150人	86,600人	80,302人	
排 除 方 式		分流式	同左	同左	
幹 線 管 渠	水巻中間幹線	φ1,500～φ600 L=11,150 m	同左	同左	
	鞍手幹線	φ800～φ600 L=3,270 m	同左	同左	
	鞍手西幹線	φ600 L=770 m	同左	同左	
	遠賀幹線	φ800～φ300 L=3,950 m	同左	同左	
	計	L=19,140 m	同左	同左	
ポ ン プ 場	名 称 及 び 所 在 地	蓮花寺中継ポンプ場 中間市蓮花寺	同左 同左	同左 同左	
		遠賀中継ポンプ場 遠賀町大字今古賀	同左 同左	同左 同左	
終 末 処 理 場	名 称 及 び 所 在 地	遠賀川下流浄化センター 中間市大字中底井野 鞍手町大字木月	同左 同左 同左	同左 同左 -	
	処 理 場 面 積	7.98ha	同左	7.35ha	
	処 理 方 式	標準活性汚泥法 +生物膜ろ過法	標準活性汚泥法	同左	
	処 理 能 力	35,000 m3/日	35,000 m3/日	28,000 m3/日	
	水 処 理 施 設	最 初 沈 殿 池	5池	5池	4池
		反 応 槽	10池	10池	8池
		最 終 沈 殿 池	10池	10池	8池
		急 速 ろ 過 池	10池	10池	-
		塩 素 混 和 池	2池	2池	1池
	汚 泥 処 理 施 設	重 力 濃 縮 設 備	1基	1基	1基
機 械 濃 縮 設 備		2基	2基	1基	
脱 水 機		3台	3台	2台	
供 用 開 始		平成15年7月1日			



凡 例	
	計画処理区域
	終末処理場
	ポンプ場
P	幹線管渠 (既設)
	幹線管渠 (計画)
	行政区界
	
	
	
	
	

図Ⅲ—16 遠賀川下流流域下水道（遠賀川下流処理区）



図Ⅲ-17 遠賀川下流浄化センター平面図

Ⅲ－８ 矢部川流域下水道事業

矢部川流域下水道の計画区域は、八女市、筑後市、みやま市、及び広川町の3市1町により構成されており、筑後地区の中心都市である久留米市に隣接した地域である。

この地域を流れる花宗川、山ノ井川及び矢部川は、宅地開発・人口増加による汚水量の増加で水質環境基準が達成されていない。このような状況から、都市環境の整備と公衆衛生の向上に寄与するとともに、公共用水域の水質保全のために平成9年度に事業着手した。

流域幹線管渠は、黒木、広川、及び瀬高の3幹線で、終末処理場である矢部川浄化センターは筑後市に位置し、平成18年10月に八女市、筑後市及びみやま市において、また、平成22年3月から広川町において供用開始した。



矢部川浄化センター

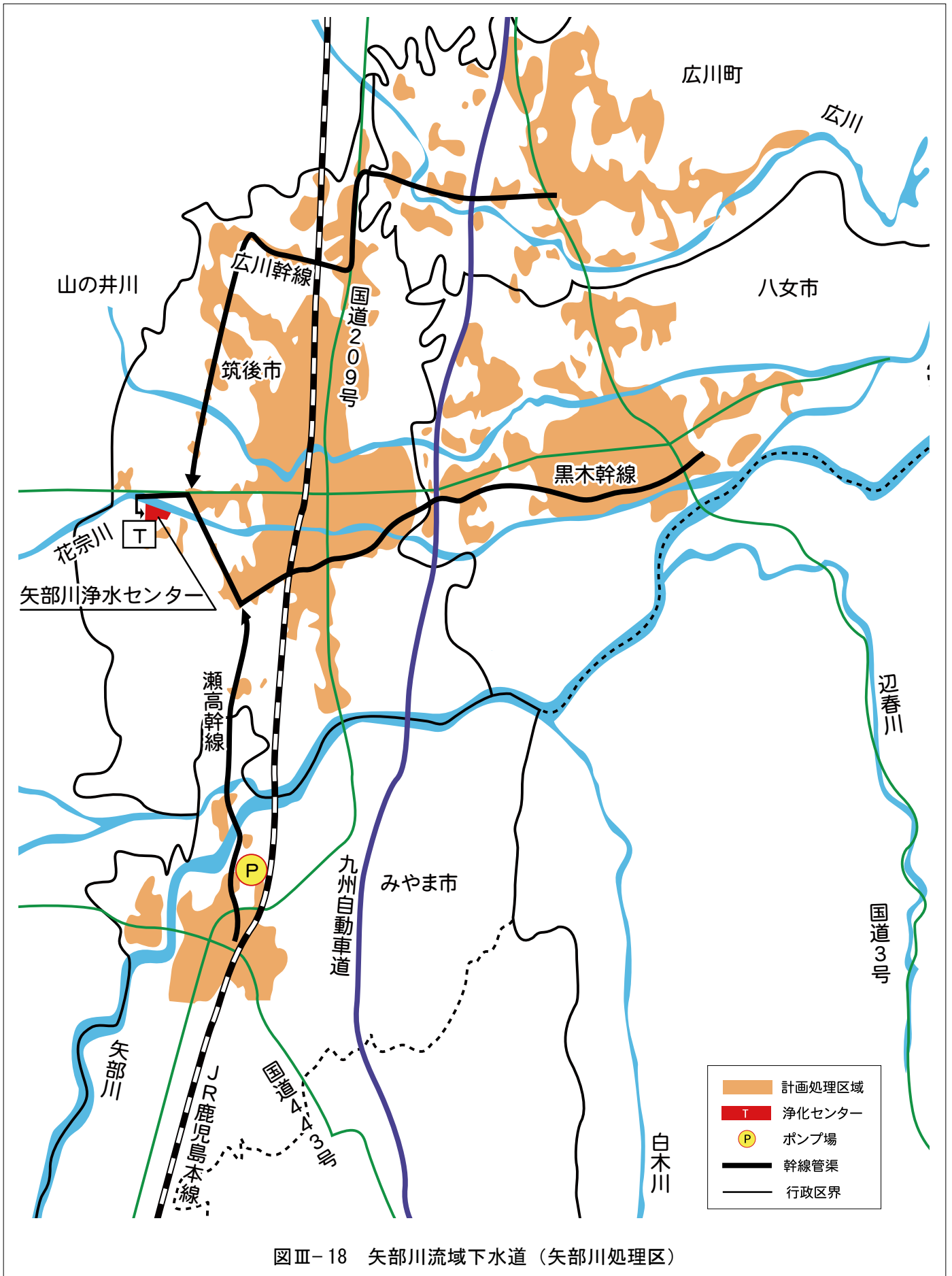
表Ⅲ-17 矢部川流域下水道事業計画

項目	市町名	計 画 区 域 (ha)	計 画 人 口 (千人)	日 平 均 家庭汚水量		日 最 大 家庭汚水量		工 場 排水量 (m3/日)	地 下 水 量 (m3/日)	日平均 計 画 汚水量 (m3/日)	日最大 計画汚水量	
				(ℓ/人・日)	(m3/日)	(ℓ/人・日)	(m3/日)				(m3/日)	比率(%)
事業計画	筑後市	580.3	19.8	290	4,709	365	5,929	550	893	6,152	7,372	
	八女市(旧八女市)	541.0	13.3	290	3,475	365	4,373	-	659	4,134	5,032	
	みやま市(旧瀬高町)	119.2	3.2	240	573	300	719	230	110	912	1,059	
	広川町	308.6	8.5	240	1,456	300	1,820	324	272	2,052	2,416	
	合 計	1,549.1	44.8		10,213		12,841	1,104	1,934	13,250	15,879	
全体計画	筑後市	1,036.6	30.6	290	8,874	365	11,169	1,825	1,683	12,522	14,847	44.7
	八女市(旧八女市)	916.0	20.3	290	5,887	365	7,410	1,100	1,117	8,104	9,627	29.0
	みやま市(旧瀬高町)	292.3	5.9	240	1,416	300	1,770	830	266	2,602	2,986	9.0
	広川町	550.0	15.8	240	3,791	300	4,740	324	711	4,826	5,775	17.4
	合 計	2,794.9	72.6		19,968		25,089	4,079	3,777	28,054	33,235	100.0

※全体計画及び事業計画は、平成29年4月5日策定

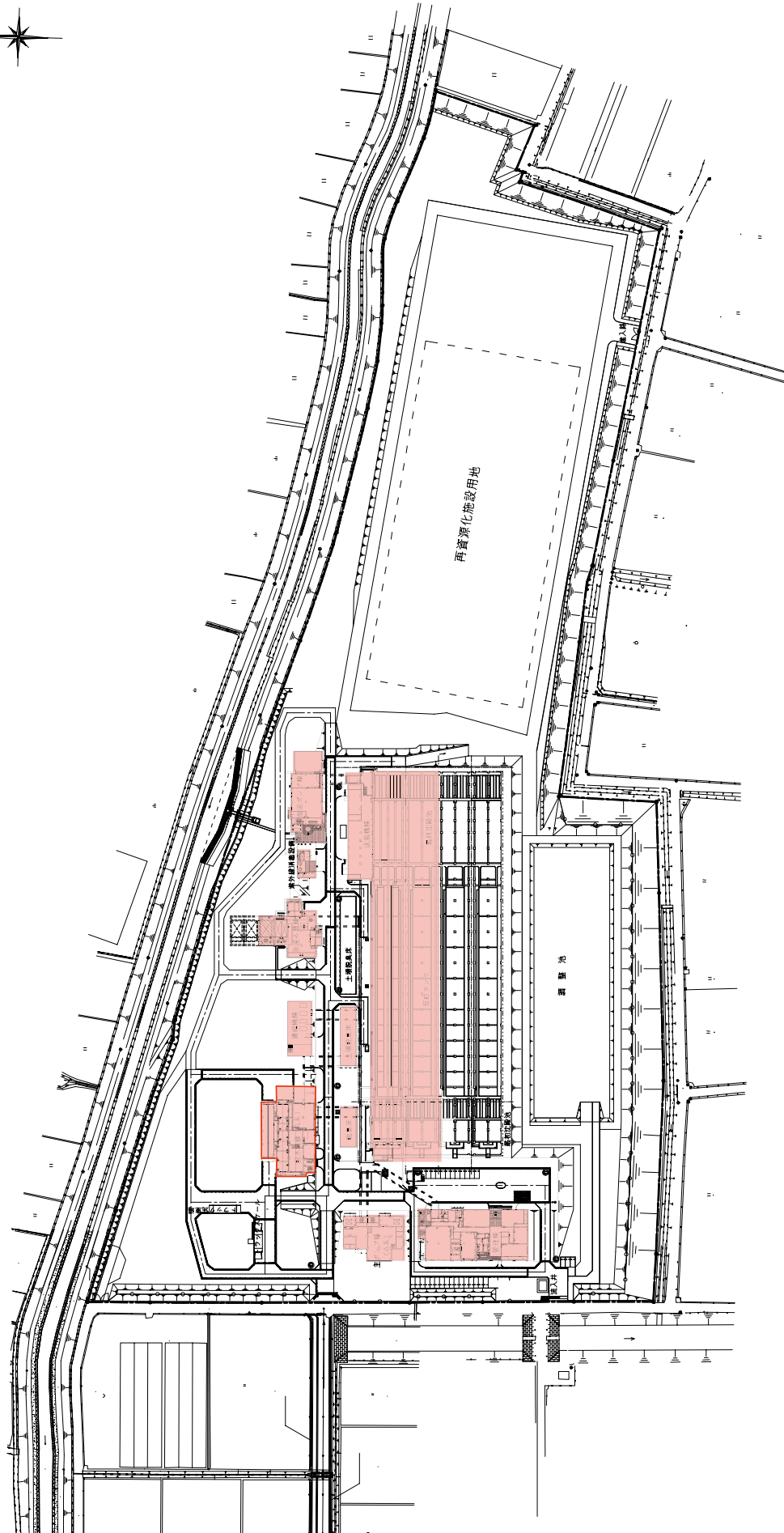
矢部川流域下水道事業の計画概要及び進捗状況

		全 体 計 画	事 業 計 画	2 9 年 度 末	
関 連 市 町		筑後市、八女市(旧八女市)、 みやま市(旧瀬高町)、広川町	筑後市、八女市(旧八女市、) みやま市(旧瀬高町)、広川町	同左	
処 理 面 積		2794.9ha	1549.17ha	1249.2ha	
処 理 人 口		72,600人	44,820人	39,125人	
排 除 方 式		分流式	同左	同左	
幹 線 管 渠	黒 木 幹 線	φ1,500 ~ φ800 L = 12,240 m	同左	同左	
	広 川 幹 線	φ900 ~ φ500 L = 11,220 m	同左	同左	
	瀬 高 幹 線	φ600 ~ φ300 L = 5,310 m	同左	同左	
	計	L = 28,770 m	同左	同左	
ポ ン プ 場	名 称 及 び 所 在 地	瀬高ポンプ場 みやま市瀬高町大字本郷	同左 同左	- -	
終 末 処 理 場	名 称 及 び 所 在 地	矢部川浄化センター 筑後市大字島田	同左 同左	同左 同左	
	処 理 場 面 積	11.2ha	同左	同左	
	処 理 方 式	嫌気無酸素好気法+急速ろ過	同左	同左	
	処 理 能 力	34,000 m3/日	19,200 m3/日	19,200 m3/日	
	水 処 理 施 設	最 初 沈 殿 池	8池	4池	4池
		反 応 槽	4池	2池	2池
		最 終 沈 殿 池	8池	4池	4池
		急 速 ろ 過 池	4池	2池	2池
		紫 外 線 消 毒 施 設	1池	1池	1池
	汚 泥 施 設 処	機 械 濃 縮 設 備	3基	2基	2基
脱 水 機		3台	2台	2台	
供 用 開 始		平成18年10月1日			



図Ⅲ-18 矢部川流域下水道（矢部川処理区）

一般平面図（事業計画） S=1:1000



凡 例
■ 再生源化施設用地

福岡県矢部川流域下水道事業計画			
図面名	矢部川浄化センター一般平面図		
縮尺	1/1000	図面番号	1/1
作製年月	平成28年度	課長	
部長		係長	
福岡県建築都市部下水道課			

図Ⅲ-19 矢部川浄化センター平面図